

今、自治体に認証印刷が強く求められています!

近年、自治体や官公庁への認証印刷システムの導入が進んでいます。その理由の1つが、「紙媒体」が情報漏えい経路の1つとして大きな割合を占めること。社内での印刷を制御することで、その抑止につなげようというのです。もう1つが、内閣府が複合機利用時に「操作パネルで利用者認証が成功した者のみ印刷が許可される機能」の活用を推奨していること。こうした動向を受け、認証印刷システムが普及しているのです。

出典：株式会社ミック経済研究所 『自治体における情報セキュリティ対策とICカード認証印刷システム利用状況調査』

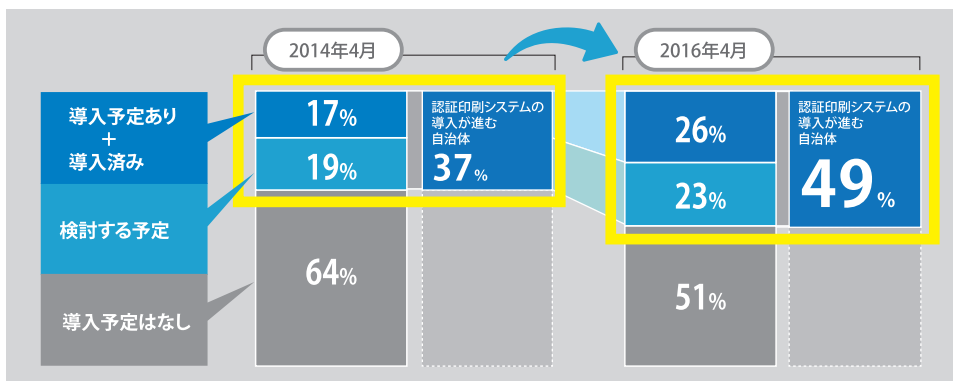
導入済+予定・
検討予定 **49%**

ICカード認証印刷
普及率 **26.6%**

認証印刷システムを導入する自治体は増加傾向に

自治体の認証印刷システム導入・検討状況を見てみましょう。「導入予定あり+導入済み」と「検討する予定」の自治体は、**2014年には37%**だったのが、**2016年には49%**という結果に。
半数の自治体が認証印刷を導入または前向きに検討していることがわかりました。セキュリティ上の脅威が増加する現在、今後も認証印刷はますます普及することが予測されます。

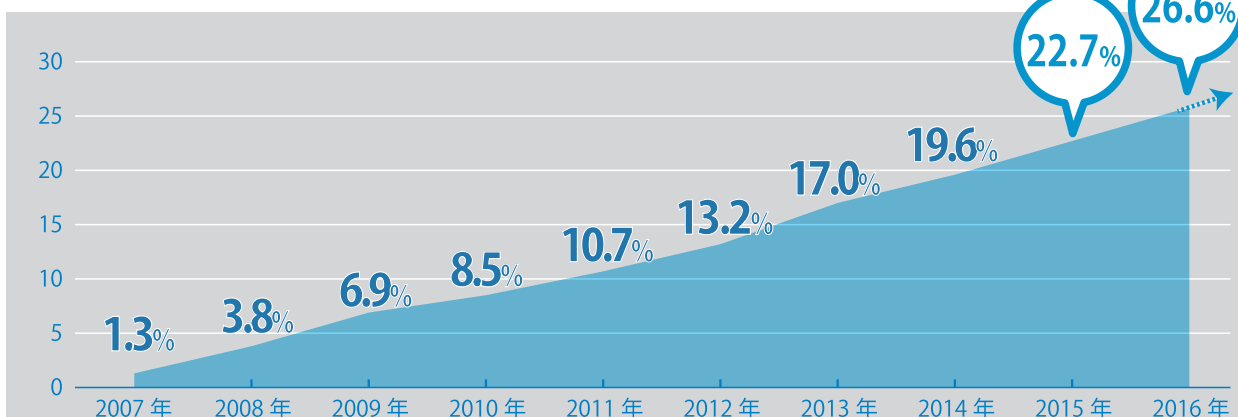
認証印刷システムの導入・検討状況の推移（2014年、2016年）



ICカード認証印刷システムが主流か

一方、認証印刷の方式の中でも有力なものがICカード認証印刷システムです。入館用のIDカードなどを転用するなどのケースも多く、比較的導入が容易という点もポイントと考えられます。そのため、**2007年には1.3%**でしたが、**2015年には22.7%**と20%を突破。**2016年には26.6%**という結果になりました。これまでの10年間で同様の推移をすると想定すると**2020年には35%を超える**ことが予測されます。

ICカード認証印刷システムの普及率推移



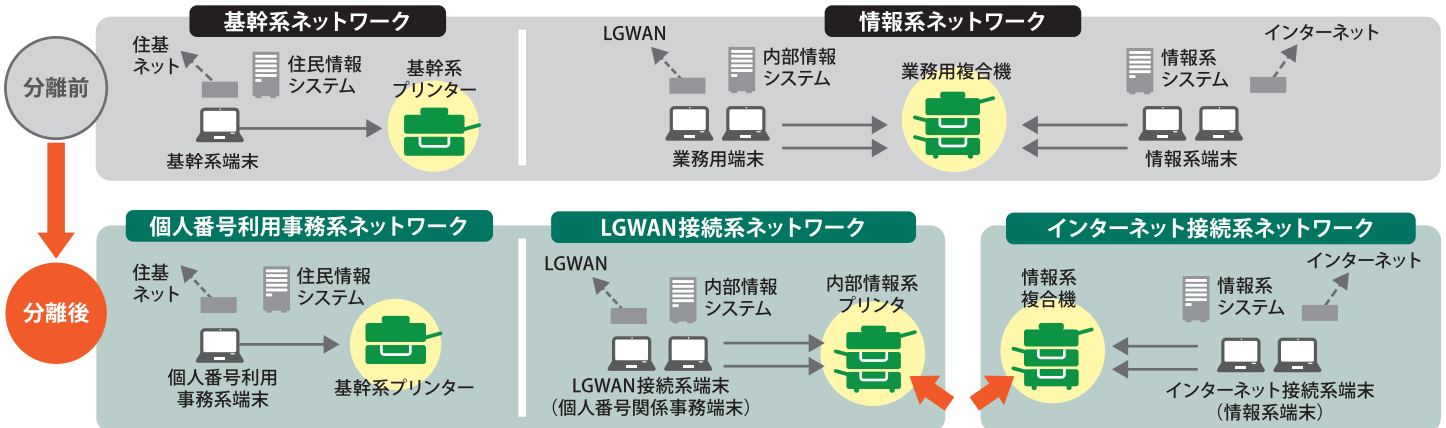
※導入している23.3%に2016年度末までに導入予定自治体を加えて算出

350以上の自治体に選ばれている認証印刷システムとは？裏面でチェック

ネットワーク分離環境で発生する、プリンター・複合機不足の課題を [s] SecurePrint! が解決！

課題 プリンター・複合機不足の問題

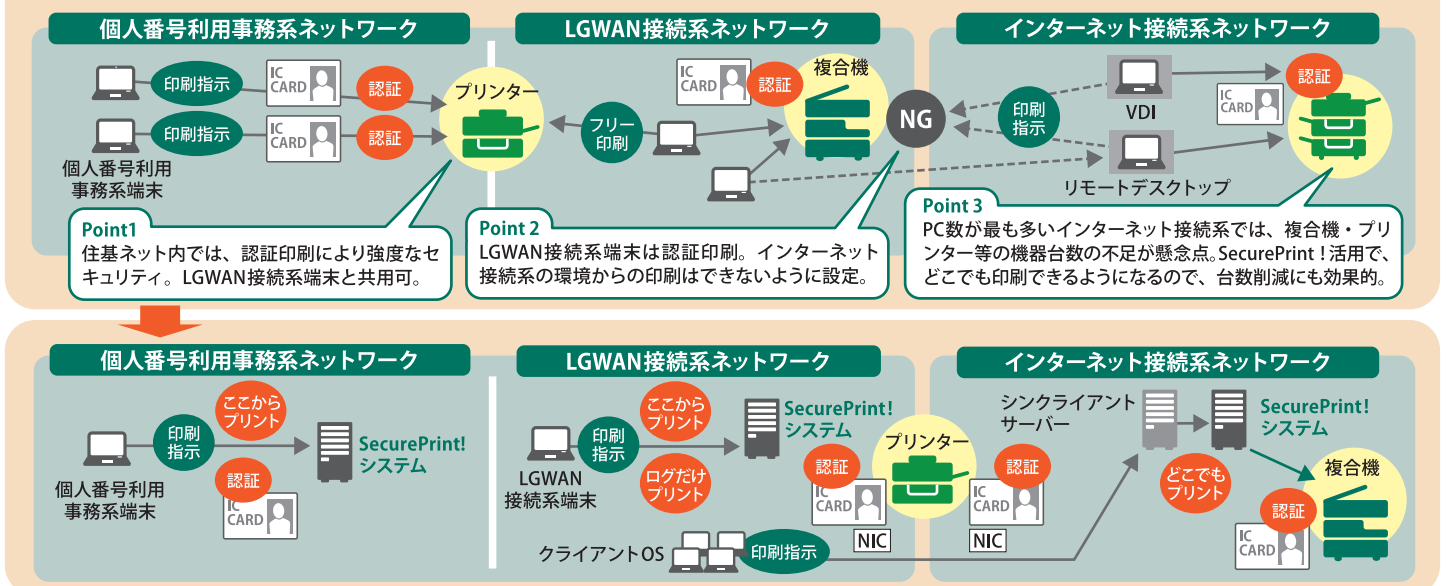
ネットワーク分離環境では環境ごとに複合機・プリンターの機器台数が増えるという課題が生じがちです。台数が増加することで、コストや管理の負担増、プリンタードライバーの管理が複雑になることなどが懸念されます。また、認証印刷導入を考えた場合にも、台数が増えることで大きな手間やコストが発生すると考えられます。



解決 [s] SecurePrint! で、台数減と認証印刷を同時に実現

SecurePrint!を活用すれば、安全・安心な認証印刷環境ができるとともに、プリンター・複合機の台数減少、管理負荷軽減にも貢献します。

個人番号利用事務系とLGWAN接続系で共有…さらなる台数減少にも効果的



詳細はぜひ、お問い合わせください！ 電話でのお問い合わせはこちら [0120-057-232](tel:0120-057-232) (TEL : 03-5789-2442)

スマートセサミ [検索](#)

お問い合わせ

CEC

株式会社シーイーシー
Computer Engineering & Consulting

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1-5-5 JR恵比寿ビル
TEL: 03-5789-2442 FAX: 03-5789-2585
Email: marketing@cec-ltd.co.jp
URL: <https://www.cec-ltd.co.jp/>

販売代理店